

# 第57回日本農村生活研究大会

主催：日本農村生活学会、農研機構 農村工学研究所  
後援：農林水産省（予定）

平成 21 年 12 月 2 日（水）～4 日（金）

つくばカピオ（つくば市竹園 1 丁目 10 番地）

シンポジウム 2日(水)13:00～15:30

## 地域内外との絆を深める農家レストラン －何を伝え何をを目指すのか－



都市農村交流や地産地消の取り組みが普及していく中で、最近注目を浴びている農家レストランを題材に取り上げます。体験・交流・飲食・宿泊・資源活用といった様々な要素が集約されている取り組みを実践者の方々より直接紹介して頂きながら、農家レストランが伝えようとしているものや目指す方向を生活の視点から探ります。

「どんぐりてい」（茨城県坂東市） 「野趣料理諏訪野」（埼玉県さいたま市）

「農家民宿なかり」（茨城県日立市）

座長 渡辺啓巳（NPO 法人ふるさと回帰支援センター）

ラウンドテーブル 3日(木)14:20～17:20

## グループ毎に自由な意見交換や話題提供を行います！

例えば「都市農村交流」「直売所」「農村女性の暮らし」「アジアの農村」「農と福祉の連携」などといったキーワード別に、いくつかテーブルを設け、参加者全員が考え、交流できる場を準備します。



12月2日（水）	12月3日（木）	12月4日（金）
12:00～ 一般受付	9:00～12:00 一般報告	9:00～16:00 現地見学
12:45～13:00 開会式	12:00～12:20 学会賞授与式	(希望者のみ)
13:00～15:30 シンポジウム	12:20～13:20 昼食	農村工学研究所農村資源研究棟
15:30～17:30 一般報告	13:20～14:20 総会	農家レストラン「どんぐりてい」
	14:20～17:20 ラウンドテーブル	* 定員あり：別途見学費を当日徴収
	17:20～17:30 閉会式	

★大会参加費 会員 4,000 円 非会員 6,000 円 学生（含：非会員）2,000 円

参加申し込みは、学会HP（<http://ruralife.ac.affrc.go.jp/>）をご覧ください。

日本農村生活学会事務局 TEL・FAX 029-838-7610 E-mail:xx052014@affrc.go.jp

## 大会日程

### 【第1日（12月2日・水）】

一般受付（12：00～ ）

#### （1）開会式（12：45～13：00）

挨拶 日本農村生活学会 会長  
（独）農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 所長  
農林水産省

#### （2）シンポジウム（13：00～15：30）

### 地域内外との絆を深める農家レストラン －何を伝え何をを目指すのか－

座長 渡辺啓巳（NPO 法人ふるさと回帰支援センター 研究員）  
（地域設計工房ヒューマンモメント 主宰）

都市農村交流や地産地消の取り組みが普及していく中で、最近注目を浴びている農家レストランを題材としたシンポジウムを開催する。体験・交流・飲食・宿泊・資源活用といった様々な要素が集約されている総合的な取り組みを、実践者の方々に紹介して頂きながら、農家レストランが伝えようとしているものや目指す方向を探る。

#### **どんぐりてい**（倉持桂子氏、雨宮光希氏）：茨城県坂東市弓田 289-2

古民家を改修した建物で、竈炊きご飯と手打ち蕎麦を提供する農家レストラン。農村と都市の人がグリーン・ツーリズムの精神でふれあい、交流し、多くの人たちが憩いの場として活用してほしいと2人の夢は膨らむ。

#### **野趣料理諏訪野**（萩原知美氏）：埼玉県さいたま市緑区上野田 282

木立に囲まれた古民家風の建物で、減農薬、無化学肥料栽培による食材と地元の契約農家の野菜などを提供する農家レストラン。また、「かあちゃん塾・ファームインさぎやま」を開設し、農作業体験や収穫体験の場を提供すると共に、農業を紹介する講演活動も行う。

#### **農家民宿なか里**（梶山明子氏）：茨城県日立市下深荻町 751-1

都市と農村の交流を通じて地域活性と人とのふれあいを通じた心のつながりの輪を広げることをねらいに、農作業や農産加工などが体験できる「夢ひたちファームなか里」を設立し、ふれあいの場、宿泊の場として運営している農家レストランも兼ねた農家民宿。

### (3) 一般報告 (15:30~17:30)

①「草原保全」政策が牧民の生活構造に及ぼした影響(第2報)

— 中国内モンゴル自治区奈曼旗の事例 —

茨城大学農学研究科修士課程 <sup>ぐん</sup>格根 <sup>はす</sup>ハス

②農村生活空間における景域音の感情・行動誘因効果について

(独) 農研機構 農村工学研究所 山本 徳司

東京農業大学 高橋 侑矢

〃 豊田 裕道

③食生活の構造に関する研究

共立女子短期大学生活科学科 黒澤美智子

④農村女性の起業活動をととしたエンパワーメント支援について

— 生活関係普及員の支援方法を踏まえて —

長野県北信農業改良普及センター 日臺 修好

〃 井本 好子

〃 美谷島由美

⑤地元学が結ぶ地域振興と国際協力

: 内発的発展 (endogenous development) を促す「キーパーソン」  
と「地元学」の意義

財団法人オイスカ/OISCA International 後藤 厳寛

⑥共同店の運営からみたコミュニティ・ビジネスの成立条件

農村工学研究所 唐崎 卓也

〃 安中 誠司

### (4) 情報交流会 (18:00~)

## 【第2日（12月3日・木）】

### （1）一般報告（9：20～12：00）

#### ① 朝鮮族の出稼ぎの実態とその行方

－朝鮮族農村の調査を通して－

東京農業大学農学研究科 董 彪  
東京農業大学 岡部 守

#### ② 女性のライフヒストリーと就農・キャリア形成

－スイスにおける農家女性の事例から－

中央農業総合研究センター 原 珠里

#### ③ 新型農村合作医療保険制度に関する一考察

－広西チワン族自治区柳州市におけるアンケート調査を中心に－

東京農業大学大学院博士前期課程 王 菁菁  
東京農業大学 岡部 守

#### ④ 農業の多面的機能を担う農業者夫妻のワーク・ライフ・バランス能力について

－女性農業者のエンパワーメントと家族とのかかわりに関する事例分析－

昭和女子大学人間社会学部 粕谷美砂子  
天野 寛子

#### ⑤ 当事者性を有した生活改良普及員の普及活動と農家女性へのまなざし

－長野県を事例に－

NPO法人 農と人とくらし研究センター 諸藤 享子

#### ⑥ J A 佐波伊勢崎農畜産物直売所を核とした地域づくり

－組合員実態調査分析からみた事例－

桐生大学医療保健学部 笹澤 武

#### ⑦ グリーン・ツーリズムと生涯学習

－徳島県勝浦町の「ふれあいの里さかもと」の事例－

香川大学 渡邊 安男

⑧都市と農村のかけはし

ー鴨川市みんなみの里の取り組みー

千葉県鴨川市農林業体験交流協会 清水 宏

**(2) 学会賞授与式 (12:00~12:20)**

**(3) 昼食 (12:20~13:20)**

**(4) 総会 (13:20~14:20)**

**(5) ラウンドテーブル (14:20~16:30)**

シンポジウムや一般報告を受けて、生活の視点から自由な意見交換や話題提供を行える場を、例えば「農村起業」「農と福祉の連携」「都市農村交流」「農村の女性の暮らし」などといったキーワード別に、いくつかテーブルを設ける予定です。

**(6) 閉会式 (16:30)**

挨拶 大会実行委員長

**【第3日（12月4日・金）】**

**★現地見学会 4日(金)9:00～16:00 \*希望者のみ(定員あり)**

午 前：農村工学研究所農村資源研究棟（農村3Dドームシアター）

昼 食：農家レストラン「どんぐりてい」（坂東市弓田 289-2）

午 後：「どんぐりてい」の見学や意見交換など

\*詳細は見学会希望者に配布